

スラスラ

できる

日商簿記 1 級

問題集

工簿・原計

PART
III

解答用紙

目次

Chapter 1

業務的意思決定

P2

● 1-1	p2	● 1-11	p5	● 1-21	p9
● 1-2	p2	● 1-12	p6	● 1-22	p9
● 1-3	p2	● 1-13	p6	● 1-23	p10
● 1-4	p3	● 1-14	p6	● 1-24	p10
● 1-5	p3	● 1-15	p7	● 1-25	p10
● 1-6	p4	● 1-16	p7	● 1-26	p10
● 1-7	p4	● 1-17	p7	● 1-27	p11
● 1-8	p4	● 1-18	p8	● 1-28	p11
● 1-9	p5	● 1-19	p8	● 1-29	p11
● 1-10	p5	● 1-20	p8		

Chapter 2

構造的意思決定

P12

● 2-1	p12	● 2-11	p15	● 2-21	p21
● 2-2	p12	● 2-12	p15	● 2-22	p21
● 2-3	p12	● 2-13	p15	● 2-23	p21
● 2-4	p13	● 2-14	p16	● 2-24	p22
● 2-5	p13	● 2-15	p16	● 2-25	p22
● 2-6	p13	● 2-16	p16	● 2-26	p23
● 2-7	p13	● 2-17	p17	● 2-27	p23
● 2-8	p14	● 2-18	p20	● 2-28	p23
● 2-9	p14	● 2-19	p20	● 2-29	p24
● 2-10	p15	● 2-20	p20	● 2-30	p24

Chapter 3

戦略的原価計算

P25

● 3-1	p25	● 3-6	p27	● 3-11	p29
● 3-2	p25	● 3-7	p27	● 3-12	p30
● 3-3	p25	● 3-8	p27	● 3-13	p31
● 3-4	p26	● 3-9	p28	● 3-14	p31
● 3-5	p26	● 3-10	p28	● 3-15	p31

Chapter 1

業務的意思決定

1-1

 標準時間 **10分**

▶ 問題編 2p

▶ 解答編 60p

部品A 5,000個は { 自製 / 購入 } する方が 千円有利である。

※ 不要な文字を二重線で消すこと。

1-2

 標準時間 **10分**

▶ 問題編 3p

▶ 解答編 60p

{ 自製案 / 購入案 } の方が、コストが 万円だけ低く有利である。

※ 不要な文字を二重線で消すこと。

1-3

 標準時間 **15分**

▶ 問題編 4p

▶ 解答編 61p

(1) { 自製案 / 購入案 } の方が、コストが 万円だけ低く有利である。

(2) 今後半期の生産量が 個を超えるのであれば

{ 自製案 / 購入案 } が有利である。
 自製案、購入案のどちらでもよい。

(注) 不要な文字を二重線で消すこと。

1-4



標準時間15分

▶ 問題編 5p

▶ 解答編 62p

問1 自製案 } の方が、コストが 万円だけ低く有
 購入案 } 利である。

問2 今後半期の生産量が 個以上であれば

{ 自製案 } が有利である。
 { 購入案 }
 { 自製案、購入案のどちらでもよい。

(注) 不要な文字は二重線で消しなさい。

1-5



標準時間15分

▶ 問題編 6p

▶ 解答編 63p

[問1] A案の方が、B案よりも原価が 円

{ 高 い } ので、A案の方が { 不 利 } である。
 { 低 い } { 有 利 }

[問2] 部品Oの年間必要量が 個以上ならば、

{ A 案 } の方が有利である。
 { B 案 }

(注) 該当する語句を で囲みなさい。

1-6

標準時間 **20分**

▶ 問題編 7p

▶ 解答編 64p

(1) 自製案 } の方が、コストが 万円だけ低く有利
 購入案 }

である。

(2) 今後半期の生産量が 個を超えるのであれば

{ 自製案 } が有利である。
 { 購入案 }

自製案、購入案のどちらでもよい。

(注) 不要な文字は二重線で消しなさい。

1-7

標準時間 **10分**

▶ 問題編 8p

▶ 解答編 65p

利益が 円 { 増 加 }
 { 減 少 } するため、

新規注文を { 引受けるべきである。
 { 引受けるべきでない。

(注) 文章中の 内には適切な金額を記入し、不要な文字
 は消しなさい。

1-8

標準時間 **15分**

▶ 問題編 9p

▶ 解答編 65p

[問1] 結論：特別注文を引受けると営業利益が 円
 { 増 加 }
 { 減 少 } するので、注文を { 引受けるべきである。
 { 断るべきである。

(注) 不要な文字を消しなさい。

[問2] A社からの受注価格が 円より高ければ、

特別注文を引受けるべきである。

1-9



標準時間15分

▶ 問題編 10p

▶ 解答編 66p

新規注文を引受けることにより利益が 円
 $\left\{ \begin{array}{l} \text{増 加} \\ \text{減 少} \end{array} \right\}$ する。

よって、この新規注文は引受けるべきで $\left\{ \begin{array}{l} \text{あ る。} \\ \text{な い。} \end{array} \right.$

※ 不要な文字は二重線で消しなさい。

1-10



標準時間5分

▶ 問題編 11p

▶ 解答編 67p

この特別注文を引受けることにより、営業利益が 万円
 [増加・減少] する。

(注) カッコ内の不要な文字を消しなさい。

1-11



標準時間10分

▶ 問題編 11p

▶ 解答編 67p

(1) 新規の注文1,000個を引受ける場合、

利益が 円 $\left\{ \begin{array}{l} \text{増 加} \\ \text{減 少} \end{array} \right\}$ するため、

引受けるべきで $\left\{ \begin{array}{l} \text{あ る。} \\ \text{な い。} \end{array} \right.$

(2) 新規の注文2,000個を引受ける場合、

利益が 円 $\left\{ \begin{array}{l} \text{増 加} \\ \text{減 少} \end{array} \right\}$ するため、

引受けるべきで $\left\{ \begin{array}{l} \text{あ る。} \\ \text{な い。} \end{array} \right.$

※ 不要な文字を二重線で消すこと。

1-12

標準時間 **20分**

▶ 問題編 12p

▶ 解答編 68p

問1 個

問2 差額利益が 円生じるため、

{ 特別注文に応じるべきである。
特別注文に応じるべきでない。

問3 価格が 円より小さいときは、

{ 特別注文に応じるべきである。
特別注文に応じるべきでない。

(注) 不要な文字を消しなさい。

1-13

標準時間 **10分**

▶ 問題編 13p

▶ 解答編 69p

利益が 円 { 増 加 } するため、製品Bとして販売すべきで { あ る。
な い。

(注) 内には適切な金額を記入し、適切な文字を丸で囲みなさい。

1-14

標準時間 **5分**

▶ 問題編 14p

▶ 解答編 69p

利益が 円 { 増 加 } するため、製品Bとして販売すべきで { あ る。
な い。

(注) 内には適切な金額を記入し、適切な文字を丸で囲みなさい。

1-15



標準時間10分

▶ 問題編 15p

▶ 解答編 70p

製品Xとして販売した場合、利益が 円 $\left\{ \begin{array}{l} \text{増 加} \\ \text{減 少} \end{array} \right\}$

するため、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{追加加工すべきである。} \\ \text{追加加工すべきでない。} \end{array} \right\}$

(注) 文章中の 内には適切な金額を記入し、不要な文字は消しなさい。

1-16



標準時間10分

▶ 問題編 16p

▶ 解答編 70p

製品Bの1kgあたり販売価格が 円より高ければ、追加加工すべきである。

(注) 文章中の 内に適切な金額を記入しなさい。

1-17



標準時間15分

▶ 問題編 17p

▶ 解答編 71p

低価格の材料を使用した方が、しない場合に比べて、

利益が 円 $\left\{ \begin{array}{l} \text{増 加} \\ \text{減 少} \end{array} \right\}$ するため、低価格の材料に

$\left\{ \begin{array}{l} \text{変更すべきである。} \\ \text{変更すべきでない。} \end{array} \right\}$

(注) 文章中の 内には、適切な金額を記入し、不要な文字は消しなさい。

1-18

標準時間 **10分**

▶ 問題編 17p

▶ 解答編 71p

高価な材料に変更することにより、利益が 円

{ 増加 }
{ 減少 } する。

よって、高価な材料に変更すべきで { ある。
ない。

※ 文章中の 内には、適切な金額を記入し、不要な文字を二重線で消しなさい。

1-19

標準時間 **5分**

▶ 問題編 18p

▶ 解答編 72p

製品甲の製造販売を中止すると、利益が 円

{ 増加 }
{ 減少 } する。

よって、製品甲の製造販売は中止すべきで { ある。
ない。

※ 不要な文字を二重線で消しなさい。

1-20

標準時間 **10分**

▶ 問題編 19p

▶ 解答編 72p

[問1] 経済的発注量を計算するための
材料の1回あたりの発注費 円

材料1kgあたりの年間保管費 円

[問2]

材料の経済的発注量 kg

1-21



標準時間20分

▶ 問題編 20p

▶ 解答編 73p

〔問1〕

経済的発注量を求める計算…………… 目的

〔問2〕

適切な原価……………

〔問3〕

(1) T材料の1回あたりの発注費 円

(2) T材料1個あたりの年間保管費 円

〔問4〕

T材料の経済的発注量 個

1-22



標準時間20分

▶ 問題編 21p

▶ 解答編 74p

問1 経済的発注量を計算するための
材料の発注1回あたり発注費 円

材料1kgあたりの年間保管費 円

問2 材料の経済的発注量 kg

問3

(1) 問2の経済的発注量を採用したときの、
値引きを受けられないことによる年間の機会損失額 円

(2) 発注1回あたり kgずつ発注するのが、最も有利である。

1-23  標準時間 **15分**

▶ 問題編 22p

▶ 解答編 76p

〔問1〕

経済的発注量 kg

〔問2〕

発注間隔 日

発注点在庫量 kg

1-24  標準時間 **5分**

▶ 問題編 23p

▶ 解答編 77p

最適セールス・ミックスの生産販売量

製品甲 個

製品乙 個

最大の営業利益 円

1-25  標準時間 **10分**

▶ 問題編 23p

▶ 解答編 78p

最適セールス・ミックスの生産販売量

製品A 個

製品B 個

最大の営業利益 円

1-26  標準時間 **10分**

▶ 問題編 24p

▶ 解答編 78p

最適セールス・ミックスの生産販売量

製品甲 個

製品乙 個

最大の営業利益 円

1-27  標準時間10分

▶ 問題編 24p

▶ 解答編 80p

最適セールス・ミックスの生産販売量

製品A 個

製品B 個

1-28  標準時間20分

▶ 問題編 25p

▶ 解答編 82p

問1 製品甲を 個、製品乙を 個
作る組み合わせである。

問2 税引前の月間営業利益は 円となる。

問3 製品甲の単位あたり貢献利益が 円より少ないと、最適セールス・ミックスが変化する。

1-29  標準時間10分

▶ 問題編 26p

▶ 解答編 83p

最適セールス・ミックスの生産販売量

製品A 個

製品B 個

製品C 個

製品D 個

Chapter 2

構造的意決定

2-1



標準時間 **5分**

▶ 問題編 27p

▶ 解答編 84p

3年間の純現金収入合計 円

3年間の純現金収入の将来価値の合計 円

2-2



標準時間 **5分**

▶ 問題編 27p

▶ 解答編 84p

3年間の純現金収入合計 円

3年間の純現金収入の現在価値合計 円

2-3



標準時間 **5分**

▶ 問題編 27p

▶ 解答編 85p

3年間の純現金収入合計 円

3年間の純現金収入の現在価値合計 円

2-4標準時間 **5分**

▶ 問題編 28p

▶ 解答編 85p

3年度末の年金現価係数

3年間の純現金収入合計

 円

3年間の純現金収入の現在価値合計

 円**2-5**標準時間 **10分**

▶ 問題編 28p

▶ 解答編 85p

投資時点でのキャッシュ・フロー

 万円

年々のキャッシュ・フロー

 万円

投資終了時のキャッシュ・フロー

 万円

キャッシュ・フローがマイナスになる場合は、金額の前に△印を付けること。

2-6標準時間 **5分**

▶ 問題編 28p

▶ 解答編 86p

税引後純現金収入

 万円**2-7**標準時間 **5分**

▶ 問題編 29p

▶ 解答編 86p

設備の売却に関するキャッシュ・フロー

 万円

2-8

 標準時間 **10分**

▶ 問題編 29p
▶ 解答編 86p

問1 第1年度末の税引前純現金収入 万円

問2 第1年度末の税引後純現金収入 万円

2-9

 標準時間 **15分**

▶ 問題編 30p
▶ 解答編 87p

問1 税引前キャッシュ・フロー（単位：万円）

	現在時点	1年度末	2年度末	3年度末	4年度末
キャッシュ・フロー					

なお、現金支出には、数値の前に「－」を付しなさい。

問2 法人税を考慮しない場合の正味現在価値 万円

正味現在価値がマイナスの場合には、数値の前に「－」を付しなさい。

問3 税引後キャッシュ・フロー（単位：万円）

	現在時点	1年度末	2年度末	3年度末	4年度末
キャッシュ・フロー					

なお、現金支出には、数値の前に「－」を付しなさい。

問4 法人税を考慮する場合の正味現在価値 万円

正味現在価値がマイナスの場合には、数値の前に「－」を付しなさい。

2-10標準時間**15分**

▶ 問題編 30p

▶ 解答編 88p

新設備の正味現在価値 万円よって、新設備を購入 $\left\{ \begin{array}{l} \text{すべきである。} \\ \text{すべきでない。} \end{array} \right.$

(注) 正味現在価値がプラスなら「+」を、マイナスなら「-」を金額の前に付し、不要な文字は二重線で消去すること。

2-11標準時間**15分**

▶ 問題編 31p

▶ 解答編 89p

新設備の正味現在価値 万円よって、新設備Aを購入 $\left\{ \begin{array}{l} \text{すべきである。} \\ \text{すべきでない。} \end{array} \right.$

(注) 正味現在価値がプラスなら「+」を、マイナスなら「-」を金額の前に付し、不要な文字は二重線で消去すること。

2-12標準時間**15分**

▶ 問題編 32p

▶ 解答編 90p

新設備Aの収益性指数 **2-13**標準時間**15分**

▶ 問題編 32p

▶ 解答編 91p

新設備Aの割引回収期間 年

2-14



標準時間 **5分**

▶ 問題編 33p

▶ 解答編 92p

0 年度 万円

1 年度 万円

2 年度 万円

3 年度 万円

キャッシュ・フローがマイナスになる場合は金額の前に「-」を付けること。

2-15



標準時間 **5分**

▶ 問題編 33p

▶ 解答編 92p

税引後加重平均資本コスト率 %

2-16



標準時間 **20分**

▶ 問題編 33p

▶ 解答編 93p

(問 1) 正味運転資本の投資額 円

(問 2) キャッシュ・フローの合計額 円

(問 3) 正味運転資本の累積投資額の回収額 円

(問 4) カッコの中には、+または-の符号を記入しなさい。

正味現在価値 () 円

結論：この投資は、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{有 利} \\ \text{不 利} \end{array} \right\}$ である。(不要なものを消しなさい。)

2-17



標準時間20分

▶ 問題編 34p

▶ 解答編 94p

問1 (1) 年々のキャッシュ・フロー (単位：万円)

	現在時点	第1年末	第2年末	第3年末
キャッシュ・フロー				

なお、キャッシュ・アウトフローには、金額の前に「－」を付すこと。

(2) 正味現在価値 万円

なお、正味現在価値が負の場合には、金額の前に「－」を付すこと。

問2 (1) 年々のキャッシュ・フロー (単位：万円)

	現在時点	第1年末	第2年末	第3年末
キャッシュ・フロー				

なお、キャッシュ・アウトフローには、金額の前に「－」を付すこと。

(2) 正味現在価値 万円

なお、正味現在価値が負の場合には、金額の前に「－」を付すこと。

問3

(1) 年々のキャッシュ・フロー

	<u>税引前キャッシュ・フロー</u>	<u>インフレ率</u>	<u>税引前名目キャッシュ・フロー</u>
現在時点	<input type="text"/> 万円	× 1.000 =	<input type="text"/> 万円
第1年末	<input type="text"/> 万円	× 1.100 =	<input type="text"/> 万円
第2年末	<input type="text"/> 万円	× 1.210 =	<input type="text"/> 万円
第3年末	<input type="text"/> 万円	× 1.331 =	<input type="text"/> 万円

なお、キャッシュ・アウトフローには、金額の前に「－」を付すこと。

(2) ① $\frac{\text{資本コスト率}}{\text{インフレ率}} + \frac{\text{インフレ率}}{\text{資本コスト率}} \times \frac{\text{インフレ率}}{\text{名目資本コスト率}} = \frac{\text{名目資本コスト率}}{\text{インフレ率}}$

② 正味現在価値

	<u>税引前名目キャッシュ・フロー</u>	<u>現係数</u>	<u>現在価値</u>
現在時点	<input type="text"/> 万円	× 1.000 =	<input type="text"/> 万円
第1年末	<input type="text"/> 万円	× 0.826 =	<input type="text"/> 万円
第2年末	<input type="text"/> 万円	× 0.683 =	<input type="text"/> 万円
第3年末	<input type="text"/> 万円	× 0.564 =	<input type="text"/> 万円
		正味現在価値 =	<input type="text"/> 万円

なお、キャッシュ・フローおよび正味現在価値がマイナスの場合には、金額の前に「－」を付すこと。

問 4

(1) 年々のキャッシュ・フロー

	税引後名目キャッシュ・フロー		減価償却費のタックス・シールド		税引後名目キャッシュ・フロー
現在時点		万円 +		万円 =	
第 1 年末		万円 +		万円 =	
第 2 年末		万円 +		万円 =	
第 3 年末		万円 +		万円 =	

なお、キャッシュ・アウトフローには、金額の前に「－」を付すこと。

(2) 正味現在価値

	税引後名目キャッシュ・フロー		現価係数		現 在 価 値
現在時点		万円 × 1.000 =			
第 1 年末		万円 × 0.826 =			
第 2 年末		万円 × 0.683 =			
第 3 年末		万円 × 0.564 =			
		正味現在価値 =			

なお、キャッシュ・フローおよび正味現在価値がマイナスの場合には、金額の前に「－」を付すこと。

2-18



標準時間 **20分**

▶ 問題編 35p

▶ 解答編 97p

正味現在価値（キャッシュ・アウトフローにはマイナスを付すこと）

既存設備をそのまま使用する案 万円

新設備に取替える案 万円

新設備の正味現在価値の方が 万円

{ 大きいため、取替えるべきである。
小さいため、取替えるべきでない。

(注) 不要な文字を消しなさい。

2-19



標準時間 **10分**

▶ 問題編 36p

▶ 解答編 98p

正味現在価値：設備投資案 A 万円

設備投資案 B 万円

よって、{ 設備投資案 A } を採用すべきである（不要な文字を消しなさい）。

(注) 負の正味現在価値には、△を付けること。

2-20



標準時間 **15分**

▶ 問題編 36p

▶ 解答編 100p

正味現在価値は 万円であり、{ 自動化すべきである。
自動化すべきでない。

(注) 負の正味現在価値には、△を付けること。また、不要な文字は消しなさい。

2-21



標準時間15分

▶ 問題編 37p

▶ 解答編 101p

製品Yの年間生産販売量が 個以上であれば、投資の採算がとれる。

2-22



標準時間15分

▶ 問題編 38p

▶ 解答編 102p

年金現価係数

人件費節約額が 万円以上であれば、自動機械を導入する。

2-23



標準時間30分

▶ 問題編 38p

▶ 解答編 103p

[問1] ※ 不要な文字を二重線で消しなさい。また負の正味現在価値には「-」を付しなさい。

P社製設備を導入した場合の正味現在価値 万円

Q社製設備を導入した場合の正味現在価値 万円

よって $\left\{ \begin{array}{l} \text{P社製設備} \\ \text{Q社製設備} \end{array} \right\}$ を導入する方が有利である。

[問2]

生産販売量が年間 個以上であれば 社製の設備が有利である。

2-24



標準時間 **15分**

▶ 問題編 39p

▶ 解答編 105p

〔問1〕 半自動機械の場合 完全自動機械の場合

<input style="width: 100%; height: 20px;" type="text"/>	<input style="width: 100%; height: 20px;" type="text"/>
個	個

〔問2〕 個以上生産する場合、

{

 半自動機械
 完全自動機械

}
 の方が有利となる。

〔問3〕 完全自動機械の方が、半自動機械より 円

{

 有利なため、購入すべきである。
 不利なため、購入すべきではない。

}

(注) 不要な文字を消しなさい。

2-25



標準時間 **20分**

▶ 問題編 40p

▶ 解答編 107p

正味現在価値：リース 万円

借入購入 万円

リースの方が正味現在価値が 万円 {

 大きい。
 小さい。

}

よって、{

 リースにすべきである。
 借入購入にすべきである。

}

(注) 負の正味現在価値には、△を付けること。また、不要な文字を消しなさい。

2-26標準時間**20分**

▶ 問題編 41p

▶ 解答編 109p

正味現在価値 万円内部利益率 %**2-27**標準時間**10分**

▶ 問題編 41p

▶ 解答編 110p

新設備の単純回収期間 年新設備の単純投下資本利益率 %**2-28**標準時間**10分**

▶ 問題編 42p

▶ 解答編 111p

新設備の単純回収期間 年

(注) 回収期間の計算において割切れない場合は、小数点以下第3位を四捨五入すること。

新設備の単純投下資本利益率 %

2-29  標準時間 **15分**

▶ 問題編 42p
▶ 解答編 112p

〔問1〕 年

〔問2〕 年

なお、〔問1〕および〔問2〕の解答にあたって端数が生じる場合、小数点未満第3位を切上げなさい。

2-30  標準時間 **20分**

▶ 問題編 43p
▶ 解答編 112p

(A) 各投資プロジェクトの内部利益率の計算

A 案 %

B 案 %

C 案 %

D 案 %

E 案 %

F 案 %

(B) 採用すべき投資プロジェクトの最適な組み合わせは、

{ A B C D E F }

である(採用すべき投資プロジェクトを、○で囲みなさい)。

(C) 最適投資総額は、 万円である。

Chapter 3

戦略的原価計算

3-1



標準時間 5分

▶ 問題編 45p

▶ 解答編 114p

- ① 万円
- ② 万円
- ③ 万円
- ④ 万円

3-2



標準時間 5分

▶ 問題編 46p

▶ 解答編 114p

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥

3-3



標準時間 20分

▶ 問題編 47p

▶ 解答編 114p

原価節約額が 円大きいため、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{第1案} \\ \text{第2案} \end{array} \right\}$ を採用すべきである。

(注) 選択すべき案を で囲みなさい。

3-4

 標準時間 **20分**

▶ 問題編 48p
▶ 解答編 115p

[問1] 品質改善計画を実行した場合、従来と比較し、どれだけ評価原価が増加するであろうか。すなわち、年間の差額評価原価を答えなさい。

円

[問2] 品質改善計画を実行した場合、従来と比較し、どれだけ内部失敗原価が減少するであろうか。すなわち、年間の差額内部失敗原価を答えなさい。

円

[問3] 品質改善計画を実行した場合、従来と比較し、どれだけ売上機会損失が減少するであろうか。すなわち、年間の差額外部失敗原価を答えなさい。

円

[問4] 品質改善計画を実行するほうが年間で

円だけ $\left\{ \begin{array}{l} \text{有 利} \\ \text{不 利} \end{array} \right\}$ である。

(注) 不要な文字を消しなさい。

3-5

 標準時間 **30分**

▶ 問題編 49p
▶ 解答編 116p

甲案を採用する場合の正味現在価値 万円

乙案を採用する場合の正味現在価値 万円

したがって、甲案を採用する方が $\left\{ \begin{array}{l} \text{有 利} \\ \text{不 利} \end{array} \right\}$ である。

(注) 該当する方を○で囲みなさい。

3-6



標準時間 **15分**

▶ 問題編 50p

▶ 解答編 119p

ライフサイクル利益

円

3-7



標準時間 **5分**

▶ 問題編 51p

▶ 解答編 119p

① 万円

② 万円

③ 万円

④ 万円

3-8



標準時間 **5分**

▶ 問題編 52p

▶ 解答編 120p

① 万円

② 万円

③ 万円

3-9



標準時間**10**分

▶ 問題編 53p

▶ 解答編 120p

許容原価 円

成行原価 円

目標原価 円

3-10



標準時間**20**分

▶ 問題編 53p

▶ 解答編 121p

全部原価計算の場合の改善利益 円

直接原価計算の場合の改善利益 円

3-11

標準時間 **10**分

▶ 問題編 54p

▶ 解答編 121p

(1) 全部原価計算方式

買掛金		原 料		仕 掛 品		製 品
()	→	() ()	→	() ()	→	() ()
		/		() ()		/
		() ()		() ()		() ()
		加工費		() ()		() ()
		() ()		() ()		() ()
						売上原価
						() ()

(2) バックフラッシュ原価計算方式

買掛金		売上原価		原 料		製 品
()	→	() 1,250	→	()		
		() ()		仕掛品		
		() ()		()		
加工費		() ()		製 品		
() ()		() ()		()		
				()		

3-12



標準時間 **5分**

▶ 問題編 55p

▶ 解答編 122p

(1) 伝統的な原価計算により配賦する方法

各製品の段取費

製品A 円 製品B 円

単位あたり段取費負担額

製品A 円 製品B 円

(2) 活動基準原価計算により配賦する方法

各製品の段取費

製品A 円 製品B 円

単位あたり段取費負担額

製品A 円 製品B 円

3-13

 標準時間 **10分**

▶ 問題編 55p

▶ 解答編 123p

活動別コスト・プール

製品別配賦額

機械作業活動	<input type="text"/>	円	製 品 X	<input type="text"/>	円
組立作業活動	<input type="text"/>	円	製 品 Y	<input type="text"/>	円
段取作業活動	<input type="text"/>	円	製 品 Z	<input type="text"/>	円
生産技術活動	<input type="text"/>	円			

3-14

 標準時間 **10分**

▶ 問題編 56p

▶ 解答編 124p

各製品の単位あたり総原価

製品 X 円/個 製品 Y 円/個 製品 Z 円/個

3-15

 標準時間 **10分**

▶ 問題編 57p

▶ 解答編 125p

事 象	天 候		期待値
	晴天 (確率60%)	雨天 (確率40%)	
仕 入			
1,000個	円	円	円
400個	円	円	円

弁当を 個仕入れた場合、期待値は最大となる。